

## 第7回 教員研修リレー講座報告 2022.11.12(土)

第7回 教員研修リレー講座を以下の通り、実施しました。ご多忙のところ、ご参加くださいました皆さん、ありがとうございました。

**担当者** 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター  
教授 安藤哲也

**日時** 11月12日(土) 13:30~15:00

**場所** 共同教育学部6号館 C105教室



**講義内容** 「どうする?! 幼小連携, 幼小接続  
ー保育者・教師が知っておきたい子どもの学びと学び方ー」

- ・子どもがつくる「理論」
- ・体験と脳の働き
- ・学び方を学ぶ (遊びの中で, 学習活動の中で)
- ・教科指導で学びを整理する

### 参観者の声より (一部抜粋)

- ・専門外の幼児教育でどんなお話なのかと思い、楽しみに参加させて頂きましたが、「子どもの育ち」という点では、どの発達年齢でも共通するところがありました。子どもの「なぜ?」に対する協働的な問題解決、自分なりの理論との食い違いが学びになるために大切なこと、体験がなぜ大切かということに加え、前段階の発達段階を知り、学びにつなげることの大切さが映像からよく分かりました。
- ・幼小連携, 幼小接続。よく聞く言葉であったが、何となくの理解であったのが、今日の授業で明確になった。また、体験の大切さ等、動画の中でさまざまなことを学べた。今後に活かしていきたい。
- ・子どもの見え方、考え方を理解し、幼稚園で学んできたことをどう生かし、意味づけ、整理するかが大切だと感じた。1年生だからと適当にはいけない。
- ・幼小の連携というと、先生が仰っていたように、子どものことを伝えるという印象でしたが…。今日の授業では、子どもの経験からの素朴理論をどうやって一般化・教科の学びにつなげていくかを考えていかなければいけないなと思うことができました。
- ・幼小連携, 接続の違いについて改めて知ることができました。「素朴理論」を新たな体験活動で整理することにつなげることの大切さに気付かせてもらった。
- ・子どもができることを認識して授業を構想することが大切だと思いました。